

2025年1月21日

株式会社アストロスケールホールディングスの株式売却について

株式会社 INCJ（本社：東京都港区、代表取締役社長：勝又 幹英）は、INCJ が保有する株式会社アストロスケールホールディングス（本社：東京都墨田区、代表取締役社長兼 CEO：岡田 光信、以下「アストロスケール」）の全株式について、市場外取引により売却することを決定し、本日、その売却を完了しましたのでお知らせします。

<詳細>

1. 対象会社

- ・社名：株式会社アストロスケールホールディングス
- ・設立：2018年11月
- ・所在地：東京都墨田区
- ・代表者：代表取締役社長兼 CEO 岡田 光信
- ・事業内容：スペースデブリ除去、軌道上サービス及びその他の宇宙事業
- ・URL：<https://astroscale.com/ja/>

2. これまでの支援内容

- ・支援決定公表日：2016年3月1日／2018年10月31日
- ・支援決定金額：30百万USドル（上限）／35百万USドル（上限）
- ・実投資額：30百万USドル（2016年3月、2017年6月各15百万米ドル）／25.5百万USドル（18年10月）、9.5百万USドル（19年3月）
- ・参照プレスリリース：
スペースデブリ除去技術の開発およびサービスを提供する ASTROSCALE PTE. LTD. への出資を決定 <https://www.incj.co.jp/newsroom/assets/1456792580.01.pdf>

3. Exit の経緯

(1) 出資について

アストロスケールは様々な大きさのスペースデブリに対応可能かつ低コストな除去技術を考案し、実用性の高いデブリ除去に関連する軌道上サービスをグローバルに提供するベンチャー企業である。INCJ は各国が宇宙産業の育成に取り組む中、宇宙産業発展のボトルネックとなりつつあるスペースデブリ問題の解決への寄与と、衛星技術等の発展や宇宙関連産業の価値創造を通じた我が国の宇宙産業への貢献を企図し、同社への出資を決定した。

(2) 出資後の事業進捗

出資以降、INCJ はアストロスケールに対し、技術開発に必要な成長資金を提供するとともに、社外取締役の派遣等を通じた経営面でのサポートを行ってきた。アストロスケールは研究開発を進めるとともに、日本や英国をはじめとしてスペースデブリ除去に関連する契約

を複数獲得するなど事業の拡大を図り、2024年6月には東京証券取引所グロース市場への上場を果たしている。また2024年12月には、世界で初めて商業デブリ除去実証衛星で観測対象デブリから約15mの距離の接近に成功するなど、今後の軌道上サービスの提供に向けた優位性のある技術開発を着実に進めている。

(3) Exitの経緯・内容

アストロスケールは着実に事業を進展させ、東京証券取引所グロース市場へ上場するに至った。INCJとしては投資時の目的は果たしたと判断し、市場外取引にて、このたび株式の売却を完了した。

4. 主務大臣（経済産業大臣）意見

本案件は、スペース・デブリの除去技術の開発及びサービスの提供を行うスタートアップ企業に対する支援であり、今後の宇宙産業を牽引する企業へと成長することが期待される。株式会社INCJによる本案件への投資を通じて確立されたビジネスモデルが、新たな株主の構成の下でさらに進展し、さらなる衛星技術等の発展や宇宙関連産業の価値創造に貢献することを期待したい。

株式会社INCJについて

株式会社INCJは、2018年9月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009年7月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社INCJは、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先のValue up活動や追加投資、マイルストーン投資、EXITに向けた活動を主要業務として、2025年3月末まで投資活動を行っていきます。

URL : <https://www.incj.co.jp/>

<本発表資料に関するお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 経営企画室 広報
奥村（070-3960-3640）、三角（080-8098-0445）
東京都港区虎ノ門 1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア

URL : <https://www.j-ic.co.jp/jp/>

<https://www.incj.co.jp/>